熊谷スマートシティ

SSIDガイドライン

スマートフォン Smartphone サービス Service インターフェース Interface デザイン Design

Version 2.1（令和６年１月発行）

Contents
目次

■ INTRODUCTION

- 熊谷スマートシティが提供するサービスの充実に向けて
- ユーザーの共感を創るための重要な視点
- 熊谷のイメージカラーを使った色彩の統一

■ デザインについて

- 使用できるキャラクター、デザイン
- 色彩指定について　（プライマリーカラー／セカンダリーカラー／「青」に関する補足説明／循環図に使用する色）
- フォントについて
- 基準となるスマートフォン、サイズ、レイアウト
- 文字のサイズ
- ヘッダーの設定
- 例外の取り扱い

INTRODUCTION

ガイドライン作成の意図・考え方

熊谷スマートシティが提供するサービスの充実に向けて



熊谷市では、令和5年度よりスマートフォンをインターフェースとした市民向けのサービスの実装が本格化します。それらの取組を、熊谷スマートシティの取組の一環として、市民、通勤・通学者、来訪者等に効果的にプロモーションを行います。

プロモーションを効果的に行うためには、まずはユーザーの「共感」をつくる必要があります。そのためには、**熊谷スマートシティ全体が、「ブランドとしての統一感」や「誰もが使いやすいサービス」をデザインしていく必要があるため、まずはスマートフォンインターフェースを充実させるためのガイドラインを設けることとなりました。**

SSIDのガイドラインを定め、サービスの充実を図る

ユーザーの共感を創るための重要な視点

効果的なプロモーション

効果的な情報発信のために、色彩などを統一することはもちろん、「熊谷スマートシティ」が目指す目標や、他市にない独自の強みを発信していくことも重要である。そのため「熊谷スマートシティ」では、熊谷市における地域性の核となる「暑さ対策」や「スクマム」の要素を絡めながら情報発信を行う。



誰も取り残さない優しい自治体DX

高齢者や障害を持った方などでも使いやすいインターフェースとするため、色覚、視力、指先の細かい操作等への配慮が重要となる。ボタン配置や文字のサイズ、色彩などをデザインしていくにあたり、本ガイドラインで定める基準を達成することで「誰も取りこぼさない優しい自治体DX」の実現を目指す。

「プロモーション」と「優しいＤＸ」の視点で作成されたSSIDガイドラインを、今後熊谷市が導入していくスマートフォンアプリの設計に反映させることで、設計段階からユーザーの共感を意識してプロジェクトを進めることができる。

熊谷市のイメージカラーを使った色彩の統一

熊谷市の既存デザインの多くに「青」が使われており、「青」は熊谷のイメージカラーとして認知されている。
本ガイドラインでは、以下既存のデザインで使われている「青」やその他の色について整理したうえで、スマートフォンインターフェースで使用する配色を定めることとした。これにより、熊谷スマートシティが発信するデザインに統一感を持たせることを目指す。

「スクマム！クマガヤ」の「青」

ラグビーワールドカップ日本大会が開催された2019年に生まれた「スクマム！クマガヤ」。熊谷スマートシティでも、この公式キャラクター「スクマム」を使用するとともに、「スクマム！クマガヤ」で使われている「青」をプライマリーカラー（第一優先として使う青）として、ユーザーへの統一的な印象をつくっていく。



カラーコード：#003DA5／R0 G61 B165／C100 M69 Y0 K4
呼　　称：スクマムブルー

「熊谷市のシンボルマーク」の「青」と「オレンジ」

「くま」の2文字からつくられた、熊谷のシンボルマーク。「青色」は快晴率日本一の熊谷市の青空と、自然豊かな荒川・利根川の流れを表し、「オレンジ色」は、熊谷の暑さと、市民の情熱を表している。



「クマぶら」の「青」

熊谷スマートシティのポータル「玄関」としての役割が期待される、LINEを活用したシステム。熊谷のイメージである「青」をベースに、アクセントとして「黒」が使われている。

デザインについて

色彩の統一感や設計におけるルール

■ 使用できるキャラクター、デザイン

「スクマム！クマガヤ」のシンボルマーク「スク」と「マム」

熊谷スマートシティに関連するスマートフォンインターフェースでは、ユーザーに対し統一的な印象を与えることを目的とし、「スクマム！クマガヤ」のシンボルマーク「スク」と「マム」のビジュアルや、「スクマム！クマガヤ」の持つ考え方（精神）を大切にしています。

デザイン設計の際は、本ガイドラインに沿ったデザインを作成するとともに、「スクマム！クマガヤ」のルールも守るよう心掛けてください。

※ フォントについては、スクマムの指定フォントは用いず、本ガイドラインの指定フォントを使用してください。

「スクマム！クマガヤ」使用ガイドライン

キャラクターを使用する場合のルールは、右記QRコードより「スクマム！クマガヤ」シンボルマーク・ロゴ使用ガイドラインをご参照ください。

デザインパターン

キャラクターのデザインパターンは市HPよりご確認ください。
なお、使用にあたっては申請書の提出が必要です。

スクマム!クマガヤ

ラグビーのスクラムとクマガヤを掛け合わせた「スクマム！クマガヤ」は、ラグビーワールドカップ日本大会が開催された2019年に誕生しました。出会った人とスクラムを組むことが大好きなシロクマの双子の兄弟。鼻が黒いほうがスク、白いほうがマム。肩を組んで前に進むことや、人と人とのつながりを大切にするという精神から、現在では、市内を中心に活用され、まちを盛り上げています。

※イラストは原則として、シンプルなものとし、擬人化されたものは採用しない。

■ 使用できるキャラクター、デザイン

クマぶら

熊谷スマートシティは「スクマム！クマガヤ」の精神を大切にし、スマートフォンサービスの入口「クマぶら」のシンボルマークを、「スク」「マム」を使い新しくデザインにしました。
使用の際は、本ガイドラインに沿ったデザインを作成するとともに、「クマぶら」のルールも守るよう心掛けてください。



「スクマム！クマガヤ」の「スク」と「マム」が熊谷スマートシティのサービスの入口（ポータル）となるスマートフォンを持ったデザイン。
肩を組んで前に進むことや、人と人とのつながりを大切にするという精神を、熊谷スマートシティでも受け継ぎ、デジタルと人の力で社会を前に進めていきます。

「クマぶら」レギュレーション

シンボルマークを使用する場合のルールは、右記QRコードより「クマぶら」使用ガイドライン及びレギュレーションをご参照ください。

※イラストは原則として、シンプルなものとし、擬人化されたものは採用しない。

■ 使用できるキャラクター、デザイン

クマPAY、クマポ

お金を連想させる黄色のガマ口のデザインの地域電子マネー「クマPAY」、人と人のつながりの気持ちを表すピンクのハート型のデザインの電子コミュニティポイント「クマポ」。
使用の際は、本ガイドラインに沿ったデザインを作成するとともに、「クマPAY」「クマポ」のルールも守るよう心掛けてください。

「クマPAY、クマポ」レギュレーション

マーク・ロゴを使用する場合のルールは、右記QRコードより「地域電子マネー「クマPAY」、電子コミュニティポイント「クマポ」マーク・ロゴ使用ガイドライン及びレギュレーションをご参照ください。



お金を連想させる黄色のガマ口のデザインの地域電子マネー「クマPAY」、人と人のつながりの気持ちを表すピンクのハート型のデザインの電子コミュニティポイント「クマポ」。
肩を組んで前に進むことや、人と人とのつながりを大切にするという精神を、熊谷スマートシティでも受け継ぎ、デジタルと人の力で社会を前に進めていきます。

※イラストは原則として、シンプルなものとし、擬人化されたものは採用しない。

■ 使用できるキャラクター、デザイン

やさしい未来　発見都市 熊谷

KUMAGAYA SMARTCITY



　循環し、成長する熊谷スマートシティを、キーワードの「わかる」「つながる」「選べる」「見つける」で表現したもの。
　「わかる」は熊谷スマートシティの全ての入口となる「クマぶら」のブルー、「つながる」は人と人のつながりのコミュニティポイント「クマポ」のピンク、「選べる」は地域電子通貨「クマPAY」の黄色、「見つける」は熊谷市のシンボルカラーの「オレンジ」を使用しています。

■ 色彩指定について

- 色は機能を補完するためのものとして使用する。
- ユーザーフレンドリーなインターフェースを実現するため、シンプルな配色を基本とする。
- テキスト、イラスト等と背景のコントラスト比は、国際的な標準ガイドラインであるWCAG2.1の、「コントラスト比4.5：1」を最低限の達成基準とする。（選択ができないテキスト・イラストや、背景にデザインの一部として配置しているものは基準以下でも可とする）
- 平常時に表示するテキスト・イラストには、ブラック、ホワイトのシンプルな配色のほか、統一的な印象を損なわない、以下のプライマリーカラー、セカンダリーカラーのいずれかを単色で用いる。
- 背景色についても上記と同様の色彩を用いる。

プライマリーカラー

スクマムブルー

カラーコード：293C／R0 G61 B165／C100 M63 Y0 K35

セカンダリーカラー



熊谷市シンボルオレンジ

カラーコード：#FF3300／R255 G51 B0／C0 M80 Y100 K0

クマぶらイエロー（クマＰＡＹ）

カラーコード：#FADF00／R250 G223 B0／C0 M0 Y100 K0



クマぶらピンク（クマポ）

カラーコード：#FF62C6／R255 G98 B198／C0 M66 Y0 K0



シルバー

カラーコード：#C1C6C8／R193 G198 B200／C29 M20 Y18 K0

「青」に関する補足説明

INTRODUCTIONの「熊谷のイメージカラーを使った色彩の統一」で示した通り、本ガイドラインでは、熊谷スマートシティのサービスを利用するユーザーへの統一的な印象をつくるため、プライマリーカラー（第一優先に使う色）として「スクマムブルー」を設定しています。

ただし、統一的な印象を損なうことのないもの（スマートフォンユーザーインターフェース以外で使用される紙媒体のデザイン等）であれば、以下既存デザインで使用されている青の使用は制限されるものではありません。

スクマムブルー以外の、既存のデザインで使用されている「青」

熊谷市シンボルマークの「青」

カラーコード：#0080ff／R0 G128 B255／C00 M50 Y0 K0

クマぶらで使用している「青」

カラーコード：#003DA5／R0 G61 B165／C100 M69 Y0 K4

クマPAYで使用している「青」

カラーコード：293C／R0 G61 B165／C100 M69 Y0 K4

循環図に使用する色

「わかる」の「青」

カラーコード：#003C96／R0 G60 B150／C100 M60 Y0 K41

「つながる」の「ピンク」

カラーコード：#D97699／R217 G118 B153／C0 M46 Y29 K15

「選べる」の「黄」

カラーコード：#FFF100／R255 G241 B0／C0 M5 Y100 K0

「見つける」の「オレンジ」

カラーコード：#F39800／R243 G152 B0／C0 M37 Y100 K5



■ 文字を画像として取り扱う際のフォントについて

- 文字を画像として取り扱う際のフォントは「スクマム！クマガヤ」のフォントに準拠する。
- システムから表示されるテキストは、各スマートフォンのデフォルトフォントで表示してください。
（例）「クマぶら」の場合、地域ニュース内に表示されるテキストなど
- 第一推奨フォントがない場合は、和文・英文ともに、游ゴシック体（Bold・Medium）を使用してください。

第一推奨フォント

・ＤＮＰ秀英丸ゴシックＳｔｄ　Ｂ

・ＤＮＰ秀英丸ゴシックＳｔｄ　Ｌ

第二推奨フォント

・游ゴシック体　Bold

・游ゴシック体　Medium

■ 基準となるスマートフォン、サイズ、レイアウト

- **基準となるスマートフォン**
  - スマートフォンの機種により画面の大きさが異なることから、小さな画面サイズでも視認性が低下しないよう配慮する必要がある。
  - 現在広く利用されているスマートフォンの中で、画面サイズの小さな機種としてiPhone S E の画面サイズ（4.7inch）を基準として定める。

- **操作ボタンのサイズ**

  横96px×縦96px以上

- **タッチエリア**

  タッチエリアは44 x 44px以上

- **レイアウト**
  - レイアウトは左上を起点とする。
  - ボタン同士の間隔は16px以上離す。
  - 下図のとおり、行動を取り消すボタン（「キャンセル」「クリア」など）は左側、目的を達成するためのボタン（「確認」「実行」など）は右側に配置する。



■ 文字のサイズ

- **基本の文字サイズ**

  各コンテンツの本文や操作解説・プライバシーポリシー等、デザインの基本となる和文テキストの文字サイズは**48px以上**（物理サイズ4mm四方以上）とする。

- **ボタンの文字サイズ**

  ボタンの文字サイズは原則「基本の文字サイズ」を踏襲するが、やむを得ない場合にはより小さいサイズを可能とする。

ボタンの文字のルール

- ボタンの和文テキストは簡潔な名詞もしくは動詞とする。
- 一文字の表示が18pxを下回る場合は分かりやすいイラストを付加する。

※ イラストは18pxを下回る文字の判読が困難な者が余裕を持って判別できることを原則とする。



分かりやすいイラストと18px以下のテキスト例

■ 例外の取り扱い

- **期間限定表示のボタン等の色彩** 要事前協議

期間限定表示（ワクチン接種・さくらシンポジウム等）については、平常時に表示するデザインの原則や、他の期間限定表示とのバランスを踏まえつつ、必要に応じ、その他の色、複数色を用いた設定等を可能とする。



プライマリーカラー・セカンダリーカラーで指定していない色彩であるが、事前協議のもと、期間限定表示の取り扱いとして許可。

- **災害発生などの緊急時のボタン配置等** 要個別調整

災害発生などの緊急時において、ボタン配置の切替等により、必要な情報への誘導を行う画面の設定については本ガイドラインの例外として個別に調整する。

災害発生などの緊急時
レイアウト・色彩

必要な情報へ
確実に誘導するデザイン